

「西宮市子ども読書活動推進計画(改定案)」に対する意見
提出手続(パブリックコメント)の結果について

平成 25 年(2013 年) 7 月

教育委員会 社会教育部 北口図書館・中央図書館

「西宮市子ども読書活動推進計画(改定案)」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

平成25年3月25日(月)から4月25日(木)にかけて実施した意見提出手続(パブリックコメント)について、34名から48件のご意見をいただきました。ご意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

提出人数及び意見件数

提出人数

(年代別・男女別)

年代	男性	女性	未記入	合計
30代	1	3	0	4
40代	0	8	1	9
50代	1	10	0	11
60代	1	4	0	5
70代~	1	0	1	2
不明	0	2	1	3
合計	4	27	3	34

(居住地域別)

居住地域	本庁	鳴尾	甲東	瓦木	塩瀬	山口	市外	不明	合計
人数	9	14	1	4	2	0	1	3	34

(提出方法別)

提出方法	郵送	FAX	メール	持参	合計
人数	1	11	6	16	34

意見件数

(意見項目別)

意見項目	件数
第1章 はじめに 社会的背景	2
第2章 基本的な考え方 基本的方針	2
第3章 西宮市の推進施策(具体的施策)	
1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進	3
2 学校における読書活動の推進	
(1) 学校における読書活動推進のための環境整備	13
(2) 子どもの読書習慣の確立	2
3 図書館における読書活動の推進	
(1) 楽しい読書環境づくりに向けての施設・資料整備	6
(2) 読書活動支援に向けたサービスの促進	13
(3) 学校との連携	3
(4) ボランティアの育成・連携	1
計画全般について	3
合計	48

(回答分類別)

回答分類	内 容	件 数
改定案に記載済	意見内容が既に改定案に盛り込まれているもの。	25
意見を反映	意見内容を基に、改定案の修正や追加を行ったもの。	11
今後の参考・検討	改定案の修正はしないが、今後の参考とするもの。検討していくもの。	6
対応が困難	対応が困難なもの、市の考え方と方向性が合致しないもの。	6
合計		48

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

第1章 はじめに 社会的背景

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案 ページ	回答 分類
余暇の過ごし方の多様化、携帯電話などの普及により、本を読む子どもが減少している。子どもの読書活動を推進することは大切なことである。	1	読書は子どもの人生にとって大きな役割を果たすと考えます。子どもと本のすてきな出会いのために、家庭や地域、学校、市立図書館などあらゆる場で本の好きな子どもが増えるよう取り組んでまいります。 西宮市では平成20年に策定した「西宮市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境づくりを進めてきました。ご指摘のように、中学生以上になると読書離れの傾向がみられます。市立図書館の司書が中学校を訪問し、主に図書委員を対象にブックトークや意見交換などを行い、中学生の要望を把握し、読書に関心を持つように努めています。また、市立図書館内にヤングアダルトコーナーを設置し、中高生が利用しやすい環境づくりをしています。	P1	
パソコンや携帯の普及により、大人も子ども（特に中学生）も本を読む人が減少している。推進計画を実施し、子ども達の読書習慣の定着について計画したほどの成果があったかどうか？	1		P1	

第2章 基本的な考え方 基本的方針

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案 ページ	回答 分類
基本的方針2に書かれているように「大人が手本になる」という点が余り重要視されていない。	1	この計画の基本的方針の中で「大人が手本となるよう、理解と協力を求めます」の項で子どもの読書活動にとって大人の果たす役割の重要性を強調しています。 大人の方へ読書案内については、「大人にも読んでほしい子どもの本」などのテーマで様々なブックフェアを実施したり、市政ニュースでも「図書館便り」のコーナーで司書が大人に薦める児童書を紹介しています。市立図書館の掲示板については、常時設置している館や、一定期間設置している館があり、今後の取組みを検討します。	P5	
大人の読書の活性化のために、子育ての本を紹介する図書館のコーナーや学校行事などで大人向けの読み語りをする事や、本のオススメ掲示板などの設置、学校行事などで大人向けの読み語りをしてはどうか。	1	学校においては、幼児児童生徒の指導及び教師の研修・相談にあたる講師派遣のための謝金を予算化しております。講師による読み聞かせなどの読書体験をしている場に、保護者の参加を案内する学校園もございます。 (平成24年度実績：10校園)	P5	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

第3章 西宮市の推進施策（具体的施策） 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>ブックスタートで絵本に目覚めた赤ちゃんや保護者のために、0歳からのおはなし会をより充実したものにしたい。</p>	1	<p>地域保健課では、4か月児健診時に市立図書館作成の「絵本のゆりかご」を配布し、絵本や図書館でのおはなし会のご紹介をしております。また、中央及び北口保健福祉センターの乳児健康相談では、図書館よりボランティアに来ていただき、絵本の読み聞かせをしていただいております。今後も職員がブックスタートへの理解を深め、絵本を通しての親子のひとときの楽しさを健診や相談事業などで伝えられるよう、継続して取り組んでまいります。また、いただいたご意見を踏まえて、西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）本編の7ページ「1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進」の文章にブックスタートについて追記いたしました。</p>	P7	
<p>この計画の関係機関に保健福祉センターが入っていない。保健福祉センター、図書館、住民ボランティアの話し合い・協力が必要である。</p>	1	<p>（追記文）本市ではブックスタート事業の一環として、妊婦や赤ちゃんを対象とした絵本の紹介や読み聞かせを実施し、乳児の4か月健診時には、0歳から始める読み聞かせという趣旨で選定した絵本のリスト「絵本のゆりかご」を保護者全員に配布しています。</p>	P7	
<p>健康講座マザークラスの際に、講座後の20分ほどのおはなしタイムを設ければどうか。</p>	1	<p>推進計画をより効果的に実施するため、関係機関に保健福祉センターを所管する地域保健課を加えることも検討してまいります。</p> <p>平成22年度より家庭教育出張講座として、マザークラス終了後に約30分間の絵本の読み聞かせ講座を社会教育課が実施しております。絵本講師による、赤ちゃんや妊婦さんにより絵本の紹介や読み聞かせの実演などを通して、これから母親になる妊婦さんに乳幼児期における子どもとのコミュニケーションの大切さを感じていただいております。中央・北口・塩瀬・山口保健福祉センターで開催し、講座の拡充を進めています。今後も、妊婦さんやお母さんが絵本をとおして子育ての楽しさを知り、子どもと向き合うことで子どもの心を育てていただけるよう、継続して取り組んでまいります。また、いただいたご意見を踏まえ、西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）本編の7ページ「1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進」の文章にブックスタートについて追記いたしました。（追記文）同上</p>	P7	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

2 学校における読書活動の推進 (1)学校における読書活動推進のための環境整備

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>学校図書館に人の配置をしていただきたい。現状の週1日の学校図書館指導員配置は少なすぎる。</p> <p>学校図書館の開館や学校図書館整備をボランティアさんをもって人的配置を充実させるというのは責任転嫁といわざるをえない。</p> <p>学校図書館担当の教職員があまりにも多忙で、やる気があっても時間がとれない。また、担当教諭が毎年変わる学校がある。</p> <p>学校によって担当者の力量にかなりの差がある。研修の機会を多く設けスキルアップを図るなど対策の必要がある。</p>	<p>9</p>	<p>学校図書館の人的配置の充実のため、司書教諭が専任として配置されるよう、引き続き国、県などに要望してまいります。また、平成23年度より、全市立小・中・特別支援学校に学校図書館指導員を年間50日（1日5時間）配置しておりますが、学校図書館ボランティアの協力や他の指導員の活用も含めて考えてまいります。（平成25年度については、学びの指導員の最大活動時間176時間より、36時間分について、学校のニーズにより、学校図書館指導員が活動することを可能としています。）</p> <p>本市におきましては、学校図書館指導員や学校図書館ボランティアなど多くの方々の協力を得ながら学校図書館の充実を図っております。そのような主旨のもと、いただいたご意見を踏まえ、「西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）」本編の13ページの見出し「ア 学校図書館への人の配置」を「ア 学校図書館の運営」に変更するとともに文章も修正いたしました。（修正後）学校図書館法の改正により、平成15年度から、12学級以上の学校には司書教諭が配置されることになりました。多くの学校では、司書教諭を中心に図書館部会を組織し、学校図書館経営計画等に基づき学校図書館の運営を進めております。運営にあたっては、司書教諭又は司書の資格をもつ学校図書館指導員（全市立小・中・特別支援学校に配置）や保護者を中心とする学校図書館運営支援のボランティア（学校サポートにのみや「ささえ」事業）など、多くの方々の協力を得て、開館時間の拡大や読み聞かせ活動、図書資料の整理、読書環境の整備等を進めております。学校図書館における人の配置につきましては、学校図書館ボランティアの協力を得ることに加え、他の指導員の活用も含めて考えてまいります。</p> <p>学校図書館教育担当者である教員も担任を兼務しており、学校図書館業務に充てることのできる時間は限られています。そのような状況の中、学校図書館教育担当者が限られた時間の中で効率的に業務にあたることのできるよう、今年度（平成25年度）、「学校図書館運営の手引き - 司書教諭・学校図書館教育担当者のために - 」を改訂しました。学校事情により、学校図書館教育担当者が毎年変わらざるを得ない学校もありますが、本手引きを有効に活用し、やりがいを持って業務にあたるものと考えております。</p> <p>学校現場では、市内の教員で組織する研究会にて、業務内容や指導方法など、テーマを設定して学び合っています。市といたしましても、学校図書館担当者学習会、学校図書館指導員学習会を毎年開催し、スキルアップに努めてまいります。</p>	<p>P13</p>	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>学校図書館の予算が少ない。課題図書を3冊ずつ購入すると学習に必要な資料の充足や更新は厳しい。人気の本が不足している。全体的に本が古い。図書室には本を増やすスペースはほとんどない。</p> <p>学校図書館は授業で利用されるための施設だが、現状では小学校では自由読書で、中学校では調べ学習で利用されることがあればよい方で生徒への利用指導も充分ではない。</p>	4	<p>市による取組みといたしましては、平成19年度から平成22年度にかけて、基礎学力向上事業（アクションプラン）において、学校図書館の充実を図り、蔵書数の標準化に向けて図書購入費を予算化しました。また平成23年度からは、基礎学力向上事業（アクションプラン）において、理科・科学関係図書の充実のために図書購入費を予算化してまいりました。</p> <p>学校図書館のスペースには限界がありますが、各学校において、配架の工夫や本の更新を効率的に行うなどの対応をしております。購入についても、予算の中でバランスよく本が構成されるよう計画して本を購入しています。ご意見や具体的な要望について、ぜひ学校にお伝えください。</p> <p>学校図書館は、授業で利用される学習の場であるべきと考えます。子どもたちが授業の中で、調べ学習として活用できる「学習・情報センター」としての機能がさらに充実するよう、学校の支援・指導に努めてまいります。</p>	P13	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

2 学校における読書活動の推進 (2)子どもの読書習慣の確立

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>校内での「読書タイム」の設定や「読書感想文コンクール」、「ビブリオバトル方式」を学校内に取り入れることも良いと思う。</p>	1	<p>各学校では、朝の読書タイムを設定したり、読書週間・読書月間を設けたりするなど、読書活動を広げる工夫をとっています。また、毎年、「西宮市立小・中学生読書感想文コンクール」、「読書感想画コンクール」を行っており、それぞれ今年度は、第59回、第24回となります。</p>	P16	
<p>子どもの読書習慣をつけるためには、子どもがどの段階でつまづいているかをしっかり把握する必要がある。クラス担任の先生も時間のある限り、読み聞かせや本の紹介をしてもらいたい。やはり、担任の先生の言葉は子どもたちに大きな影響力を持つ。</p>	1	<p>学校では、子ども一人ひとりが同じ本を手にし、担任の先生が声をあげて本を読む読書（「聞かせ読み」と呼んでいます。）を行ったり、朝の会（朝学活）や終わりの会（終学活）で、担任の先生が一日少しずつ本を読み聞かせたりするなど、耳で聞く読書も行っています。そのような取組みを保護者にも伝え、家庭にも広げていくとともに、子どもの読書活動を広げ、読書体験を深めるような取組みを学校教育活動の中でできるだけ多く取り入れていきたいと考えております。</p> <p>学校図書館には、心豊かな人間性を培うための基盤となる「読書センター」としての機能と、「情報収集」「情報管理」「情報提供」の3点を基本として備えた「学習・情報センター」としての機能が必要です。子どもたちが授業の中で、調べ学習として活用できる「学習・情報センター」としての機能がさらに充実するよう、学校の支援に努めてまいります。</p>	P16	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

3 図書館における読書活動の推進 (1)楽しい読書環境づくりに向けての施設・資料整備

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
最近、市立図書館内で、子どもをねらった事件がおきているようなので小学生や幼児の本のコーナーは他のところと少し仕切る方がよいのではないか。	1	安心して読書ができる環境はもっとも基本的なことであり、児童コーナーへの職員配置や見回り体制の強化などに努めております。	P19	
大型絵本の貸出期間の延長と借出せる冊数を増加してほしい。また、分室からでも借りられるようにしてほしい。	2	市立図書館で所蔵している大型絵本は冊数が少なく、高価なため、複本が購入できていません。また、貸出希望時期が集中するため、貸出冊数・貸出期間を限らせていただいています。分室からの貸出については、委託業務の見直しなど方法を検討してまいります。	P19	
返却ポストを学校や駅など図書館以外にも設置し返却をしやすくする。移動図書館（自動車）の復活や校区内に図書室がほしい。	3	平成21年に山口分室と若竹分室がオープンし、市内には4つの拠点図書館と7つの図書館分室を整備しております。土・日（分室は山口分室のみ）・祝日も開館しておりますので、お近くの図書館をご利用ください。	P19	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

3 図書館における読書活動の推進 (2)読書活動支援に向けたサービスの促進

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>おはなし会の参加人数が少ない。 おはなし会の情報が一元管理されていない。 おはなし会の質の向上が必要である。また、図書館が育成している「図書館ボランティア」が優遇されているのではないか？</p>	3	<p>北口図書館では毎日2回（土曜のみ1回）と全国的にも例のない回数を開催し、それはボランティアの方々に支えられております。いつ来館してもおはなし会に参加できることは素晴らしいことです。平成23年度は、499回開催し6,866人に参加していただき、平均すると約14人となります。少人数での読み聞かせにも大きな意味があり、一概に少ないから悪いわけではありませんが、天候の悪い日など少ない日もありますので、今後とも職員による声かけなど広報に努めてまいります。</p> <p>おはなし会の情報につきましては、開催情報を一覧できるチラシを作成し配布しているほか、広報紙「まつぼっくり」や「しゃぼん玉」にも記載しております。また、市のホームページ「イベント情報」では教育委員会だけでなく全市のイベント情報を一元的に広報しております。</p> <p>おはなし会の質の向上につきましては、現在も勉強会や研修会を通じ努めているところです。ボランティア育成につきましては、3年間を養成期間としており、その後は地域で自立して活躍していただくことを前提にしております。</p>	P20	
<p>本の楽しさを知らず興味がない子たちに対しては、まず本を手にとってもらい、図書館に来てもらうことを考えてほしい。 新聞などで紹介されている本を検索すると蔵書にないことが多々ある。新刊書も早急にそろえて頂きたい。 その場に集まった人たちが同じ本を読むことで人と人を結ぶなど「同じ本」がそろって図書館の特徴を活かせるかどうか。 「読んでごらんおもしろいよ」は新刊本が対象だが、古い本の中にもおもしろい本が多くある。また、小学校の低中高で各15冊もの新刊が選ばれるのは多すぎる。</p>	4	<p>本の楽しさを知らず興味がない子たちに対しては、これまでも定期的にビデオ上映会や人形劇などを行うなど、市立図書館に来るのが楽しくなるような企画を行ってまいりましたが、今後もいっそう工夫してまいります。</p> <p>新刊書については、市立図書館の蔵書として登録されてから図書館のホームページや利用者用端末で検索が可能になります。注文中の図書の情報や購入希望については、図書館の各窓口でご相談ください。</p> <p>市立図書館では、年に1度、同じ本を持ち寄った市民読書会を開催し、同じ本を読んで意見交換をしております。本は常に貸出に出ますので、同じ本がそろえることはありませんが、小学校からの授業支援にはできるかぎり同じ本をそろえて提供しております。</p> <p>過去の「読んでごらんおもしろいよ」のブックフェアを行うなど、図書館が自信をもって面白いとお薦めできる本を今後も紹介してまいります。「読んでごらんおもしろいよ」は学校図書館で新刊書を購入する際の一定の目安になっております。その意味で選定冊数の各15冊については、現出版状況においては決して多い冊数ではないと考えております。ただ、この目録が子どもたちに長く利用していただける目録となるよう、今後の出版状況も注視しながら、冊数の見直しも含め検討してまいります。</p>	P20	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
<p>ホームページで本の紹介をしたり、絶えず更新し画面をいつもリフレッシュしてほしい。 絵本コーナーや児童コーナーに専門の職員を配置して子どもたちの中に入り本の紹介をする環境をつくる。</p>	1	<p>市立図書館では、平成23年の新図書館システム稼動時にホームページを一新し「こどもページ」を新設いたしました。コンテンツについて内容の充実を図り、常に更新していくよう努めてまいります。 市立図書館では、拠点館に児童サービスの専任職員を配置しており、児童コーナーの運営に当たっております。</p>	P20	
<p>子どもたちが自分で好きな本を選ぶ習慣を身につけるためにも背の低い絵本棚を設置し、順番にいろんな本が目につく環境を整えてやってほしい。 年齢が上がっていくほどブックトークに興味を持ってくれるのではないかと。また「ビブリオバトル方式」を学校内に取り入れることも良いと思う。 中・高生の読書活動の支援を考える。大学生や高校生、中学生におはなし会に参加してもらったら良いのではないかと。また、各ボランティアのおすすめ絵本のコーナーも名前（グループ）入りでアピールするのも楽しいかなと思う。 ノンフィクションというジャンルで夏休みなど限定でもコーナーを作ることは中高生向きで子どもにも理解しやすい。期間限定で、いろいろな新商品を売り出すような、そんな企画を考えてほしい。</p>	4	<p>小さな子ども向けの絵本につきましては、すでに児童コーナーの書架を子どもが直接手にとりやすいよう低く設置をしておりますが、今後も手にとってもらいやすいような工夫をしております。 今後さらに活動の場を広げていくために、学齢期の子どもへの読書案内の一つとしてブックトークにも取り組んでおります。また、これまで本に興味なかった方にも「読みたい」という気持ちを持っていただけたらと考えてビブリオバトル（数名が5分程度で本を紹介し、誰の紹介が一番読みたいと思わせかかを競う）に取り組んでおります。今後も多くの方に参加いただけるよう広報してまいります。県立高校ではすでに実施している高校もございます。 中・高校生の読書活動の支援のために、市立図書館の司書が中学校や高校を訪問し、ブックトークや交流会を行いつつ、ニーズの把握に努めております。大学生のおはなし会への参加につきましては、鳴尾図書館で実施しております。中学生につきましては、トライやる・ウィークでおはなし会の体験をしていただいております。また、各ボランティアグループのおすすめの絵本のコーナーの設置につきましては、各館児童コーナーのスペースの問題もございますが、研究してまいります。 中・高生に向けましては、市立図書館の北部・鳴尾・北口館でコーナーを設け、中高生を対象としたサービスを展開しております。今年度中には中央館でも開始する予定でございます。これらのコーナーには、一般コーナーと児童コーナーから中高生向けにと、あらゆるジャンルから司書が選りすぐった図書を集め、貸出の状況や社会状況に応じて入れ替えを行い、どの本を手にとっていただいても面白いと思ってもらえるよう努めております。また広報紙の発行、ブックフェアの開催、掲示板を利用した中高生との直接のやりとりなどを通して、常に中高生の関心を得られるよう、工夫をしております。</p>	P20	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
小中高生が学校帰りに気軽に図書館に通えるように、スーパーやコンビニでも使えるように図書カードのシステムを変えてみる。TSUTAYAのようにポイントをカードに使う毎に貯められるようにして一定数ポイントが溜まったら図書カードをあげるなどして子どもが本屋に通うのが楽しくなるような習慣づけをする。	1	子どもに読書の楽しみを知っていただくため、おはなし会や夏休みの図書展示、夏祭りなどの行事を行い市立図書館に足を向けてもらえるきっかけ作りをしております。また、スーパーやコンビニとの直接の連携は現在考えておりませんが、子どもたちが本に接する機会を増やせるよう地域との連携を進めてまいります。	P20	

3 図書館における読書活動の推進 (3)学校との連携

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
学校図書館を子ども達が利用する時間帯（朝、業間、昼休みか放課後）約1時間程度でも司書資格のある方に来ていただきたい。	1	市立図書館では、司書が学校図書館を訪問して、学校図書館教育担当者や学校図書館指導員、学校図書館ボランティアと意見の交換をしております。今後もこの取組みを進め学校図書館との連携を強化してまいります。	P26	
学校の図書室からの予約・受取り・返却ができれば大変ありがたい。学校が授業資料の借出しをする際は中央図書館が窓口となっている。物流ではなく直接届けてもらえないか。	2	市立図書館の本を学校で児童・生徒に貸出、返却することはコンピュータシステムや管理の面から困難ですが、学校図書館の端末機から一度の動作で市立図書館の蔵書も検索できるようになりましたのでご利用ください。学校図書館への貸出期間を延長して、40冊4週間、市立図書館の本を貸出しできるようにしております。また、授業に使う資料を市立図書館から直接届けることについては、館内業務もあり困難です。市立図書館では、学校から連絡があればできるだけ迅速に役立つ資料を探して集め、学校の物流システムに乗せて届くようしております。資料のご相談などは各拠点図書館へ相談してください。	P19	

3 図書館における読書活動の推進 (4)ボランティアの育成・連携

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
ボランティア相互の交流と技術向上のために、他館への出張読み聞かせ、合同イベントの実施を今後進められたら良いと考える。	1	ボランティア相互の交流のため、交流会や合同イベントを計画しております。	P28	

西宮市子ども読書活動推進計画（改定案）パブリックコメント ご意見の概要と市の考え方

計画全般について

ご意見の概要	件数	市の考え方	改定案ページ	回答分類
今回の子ども読書活動推進計画は基本方針もしっかりしている。	1	本は子どもにとって重要な役割を果たします。子どもがあらゆる場で本に親しむことができるように子どもの読書活動の推進を進めてまいります。 市立図書館では、学校からの図書館見学の受入や、司書による学校訪問を実施しています。その際にブックトーク（一定のテーマで何冊かの本を紹介しその本の面白さを伝えること）を実施したり、図書館利用を呼びかけております。	P5	
本には作者の想いが込められており、生き方にも大きな影響を与えてくれる。図書館には多数の書籍が並んでおり、利用を呼びかけることが必要である。	1	計画書については、別途「西宮市子ども読書活動推進計画（概要版）」（A3サイズ1枚を二つ折りしたもの）を作成し、本編、ダイジェスト版と共に配布しておりました。	P26	
計画書はA4、1枚にまとめて市民が関心を示すパンフレットにすべきである。	1		-	